

事業所における自己評価総括表

○事業所名

放課後等デイサービス ど〜なっつNeo（単位1）

○保護者評価実施期間

2025年 11月 4日

～

2025年 12月 19日

○保護者評価有効回答数

対象者数

19名

回答者数

14名

回答率

73.7%

○従業者評価実施期間

2025年 11月 21日

～

2025年 12月 19日

○従業者評価有効回答数

対象者数

4名

回答者数

4名

回答率

100.0%

○事業者向け自己評価表作成日

2026年 2月 20日

★分析結果

	事業所の強みだと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	更に充実を図るための取組等
1	事業所間交流	法人内の生活介護事業所と連携し、活動の中で体験する機会を設けています。また、クリスマス会など大きな行事を一緒に行うことでより意識的に交流しています。	高校2～3年生の支援として、生活介護事業所の利用を通して交流の機会を設けていきます。また、小学生から中学生への移行期に体験できる環境を整えていきます。
2	個別課題への取り組み	余暇活動の取り組みや将来を見据えて作業系の課題を設定しています。また、家庭で取り組んで欲しいことを確認し、実生活に汎化できるよう箸や着脱に強化した課題なども設定します。	個々の状況に寄り添い、より必要なスキルが身に付くよう支援していきます。将来必要な余暇時間の過ごし方など個々に合わせて課題内容を検討していきます。
3	保護者や他事業所との情報共有	相談支援専門員を軸に他事業所との支援会議を定期的に行い、よりよい支援が行えるように情報交換を行っています。また、保護者にも相談しやすい環境を整え、適宜懇談等行っています。	今後も定期的な懇談をはじめ、保護者様との情報共有を行います。また、よりよい支援に繋げるために相談支援専門員や他事業所との連携を強化していきます。

	事業所の弱みだと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の不足	重要事項説明書や支援プログラムなど発信する機会を頂いておりますが、まだ足りていないところがあると認識しました。連絡帳の活用が上手くいっていないのご指摘がありました。活用方法について、今一度検討しお伝えしていきたいです。	今後もHPの閲覧、お便りでの発信など積極的に行って行きたいと思えます。また、必要に応じて説明する時間を設けるなどして情報発信に努めます。
2	地域交流	今年度は秋まつり開催に伴って、地域の方にも事業所に来ていただく機会はありませんでしたが、地域への発信が少ないと感じています。	今後も地域の方にも知って頂く機会として秋まつりで地域開放等を継続して行いたいと思います。
3	研修会・勉強会の実施や情報提供	職員の研修会は定期的には実施していますが、保護者向けの勉強会などの情報が少ないと感じています。	将来を見据えた勉強会・研修会の情報提供や事業所主催の勉強会や保護者交流会など必要に応じて実施を検討していきたいと考えています。

事業所職員からの意見・アイデア等

●事業の強みや、今後強化・発展できると思うこと

利用者さんが社会に出た時に困らないように日々支援を行っています。生活介護や就労先でも必要な力（手先の器用さや日常動作等）課題を通して取り組んでいます。

また高校卒業後のイメージがなかなかつかない利用者さんに部分体験などを通して同じ建物内の生活介護で成人の方と一緒に過ごす時間を設けていることが強みだと思って同じ建物内に生活介護があり、その子で自立サポート支援が出来ることが強みだと思う。

幼児期から学童期・成人期と繋がりがあること。

●工夫していることや意識的に行っている取組等

中高生ならではのイベント企画

人との距離感など、高校卒業後の大人としての振る舞い方について伝えている。

年齢に合わせた個別課題の設定。余暇活動の過ごし方、長期休み中の外出など年齢や状況に合わせて対応している。

●事業の更なる充実を図るための改善案等

小学生から中高生、成人期へ繋がる支援のために、事業所間で交流を図っていきたい。

事業所名 放課後等デイサービス ど〜なっつNeo (単位1)

公表日 2026年3月2日(月)

利用児童数 19名

回答数

		はい	どちらとも 言えない	いいえ	知らない	ご意見
環境・ 体制整備	1	14	0	0	0	
	2	11	3	0	0	
	3	13	1	0	0	
	4	14	0	0	0	
適切な 支援の 提供	5	14	0	0	0	・子どもの特性や性格を、親以上に理解してくれていて、とても心強い支援を提供されている環境下で感謝しない。
	6	14	0	0	0	
	7	14	0	0	0	
	8	14	0	0	0	
	9	13	1	0	0	
	10	3	3	6	2	

		はい	どちらとも言えない	いいえ	知らない	ご意見
保護者への説明等	11	14	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳が機能していない。 ・先生によっては熱意がいつも感じられない。
	12	14	0	0	0	
	13	10	2	2	0	
	14	11	1	2	0	
	15	14	0	0	0	
	16	13	1	0	0	
	17	5	6	3	0	
	18	13	1	0	0	
	19	13	1	0	0	
	20	13	1	0	0	
	21	14	0	0	0	

		はい	どちらとも言えない	いいえ	知らない	ご意見
非常時等の対応	22	13	1	0	0	
	23	12	0	0	2	
	24	14	0	0	0	
	25	13	1	0	0	
満足度	26	14	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の子どもに対する理解力と愛がとても伝わるので、何の不安もなく利用出来ている。 ・職員の方が親身になって相談に答えてくれるところです。 ・家では取り組んでいなかった、箸の利用を勧めてもらい家でも使えるようになった、洗濯ばさみが使えるようになった、ボタンへの興味を持たせてくれたなど家ではやらないアプローチを行ってくれたこと。 ・担当してくれている先生は日頃から子どものことをよく見てくれていると感じています。感謝しています。 ・思春期のとても大変な時期の子ども達を扱う先生方には本当に感謝しかなく、できれば長く居てほしいので、処遇改善してあげてほしい。 ・外出をもう少し取り組みに入れてほしい。
	27	11	3	0	0	
	28	13	1	0	0	

お子さまの発達や子育てのことで、同じようなお悩みがある方がいた場合、当事業を紹介したいと思いますか？

5.4点 /6点満点

事業所名 放課後等デイサービス ど〜なっつNeo (単位1)

公表日 2026年3月2日(月)

		はい	いいえ	工夫していることなど	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ブースが備えているため活動のみの用途ではなく、利用者さんが一人になりたい ・落ち着きたいときに活用できる部屋は良いことだと感じている。 ・個別に慣れる空間がある点が良いと思う。ただ、壁が薄いのか利用児が個別の空間に接している壁を蹴ると、その音が聞こえるのももう少し防音にした方が良いのか、と思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録入力の時間の確保が今後の課題と考える。その日のものをその日のうちには終わらせられないことがあるため、時間の使い方を考えたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	
適切な支援	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	
	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	
	15	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	

		はい	いいえ	工夫していることなど	
支援の提供	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	
	22	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	
	23	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	4	0	
	24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	
関係機関や保護者との連携	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	<p>・家族への支援については、相談・助言等の対応はできているが、研修会などの機会は設けていないため、今後検討していきたいと考えている。また、研修等の情報は積極的に提供していきたい。</p>
	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	
	27	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	
	28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	
	31	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	
	32	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	

		はい	いいえ	工夫していることなど
	34	2	2	
保護者への説明等	35	4	0	<p>・父母会や保護者会などの機会はないが、保護者交流が必要という声が多く挙がった場合には、機会を設けられるよう検討したい。</p>
	36	4	0	
	37	4	0	
	38	4	0	
	39	0	4	
	40	4	0	
	41	4	0	
	42	4	0	
	43	4	0	
	44	2	2	
非常時等の	45	4	0	<p>・利用児が暴力をふるった際、どのように対応すべきかマニュアルがあってもよいかもしれないと考える。</p>
	46	4	0	
	47	4	0	
	48	4	0	
	49	4	0	

		はい	いいえ	工夫していることなど
対応	50	3	1	
	51	4	0	
	52	4	0	
	53	4	0	

50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。

51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。

52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。

53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。